読書は心の貯金箱③

令和２年　４月２２日（水）

天神山小学校教頭　森田　卓

こんにちは、森田です。

昨日の「読書は心の貯金箱②」において、ぜひお子様と一緒に教科書を読んでみてくださいというお願いを書かせて頂きました。そうすると不思議なものですね。自分もふと教科書が読みたくなりました。そして手にしたのが５年生の国語の教科書でした。

パラパラとページをめくっていくと目にとまったのが『大造じいさんとがん』でした。子どもの頃、お話の題名だけを担任の先生から聞いたときは「鳥」のお話だとは全く思わなかったことや、自分が教師になって５年生を担任していた頃のことが瞬く間に思い出されました。あの頃担任していた子どもたち、みんな元気にしてるかな・・・。

年を取ると、教科書ひとつで感傷深くなってしまいますね。

と、いうわけで今日もまたまた前置きが長くなって申し訳ございませんでした。

本日の「読書は心の貯金箱」は、**本校にこにご学級担任の永井先生からのオススメの一冊をご紹介致します。いつもおだやかで優しい永井先生は「にこにこ」という言葉がピッタリですね。**永井先生のオススメの一冊、とっても楽しみですね♪

【ポピー　ミミズクの森をぬけて】

『ポピーはため息をついた。前に進むのはしんどい。
でも、後にもどるのもつらい。
前に進むのも後にもどるのも同じくらいたいへんだ。』

勇気を出してやってみるのは踏ん張る力がたくさん必要です。でも、チャレンジしていることをあきらめてしまうのもつらいことです。毎日毎日、勇気を出したりあきらめてしまったり、しんどいこともつらいこともあるけれど、そうしていれば嬉しいことや楽しいことだってやってきます。
シロアシネズミのポピーは、大好きな仲間のため、自分のため、恐ろしいミミズクの住む森にたった一人でむかっていきます。勇気とはいったい何なのか。そんなことを考えさせてくれる一冊です。